

「岸良小・中学校の岸良の棒踊り・鎌踊り伝承活動の取組」

1 学校名

肝付町立岸良小・中学校

2 学年・人数

中学生1～3年生（4名）

3 日時・場所

(1) 練習の日時・場所

令和元年10月 放課後（本校体育館）

(2) 発表の日時・場所

令和元年10月27日（日）

学校・地域合同文化祭「岸良フェスタ」（本校体育館）

4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能，伝統行事について

(1) 名称

岸良棒踊り（きしらぼうおどり）

鎌踊り（かまおどり）

(2) 由来

「治作どん」という人物が移住して広めたという伝承がある。岸良東地区と西地区にそれぞれ伝承されていたものが統合された。五穀豊穡や，敵に襲われた際の武芸の形をかたどり，踊りにしたと伝わっている。

(3) 構成等

歌を歌いながら歌い手と舞手は入場する。舞手は地面を棒で突きながら入場する。まず，棒踊りを行い，次に鎌踊りを行い，歌いながら退場をする。

5 保存会や地域との連携の具体

歌い手は保存会の方々が，舞手は中学生・高校生が務める。指導は放課後に保存会の方々が行う。

6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

指導者が来られないときの為にビデオカメラを使用し，指導者の動きを記録しておく。また，舞手が少数の為，高校生に協力を依頼し舞手を最低現確保した。

7 取組の様子（練習状況、発表の場等）



練習風景 1



練習風景 2



文化祭での発表 1



文化祭での発表 2

8 参加児童生徒・保護者・保存会・教員等の感想・意見

【生徒】

「伝統芸能を受け継ぐ」

岸良中 2年 岩崎 雅弥

今年の岸良フェスタでも、棒踊りをする事になった。僕は、まだ岸良中に来て2年目なので、きちんと覚えているか、1年生に教えることができるかと不安だった。

6人一組で踊る棒踊り。今年も中学生が4人しかいないので、二人の卒業生に協力をもらい、練習が始まった。先輩たちには忙しい中練習に参加してくれるので、時間を無駄にしないように真剣に取り組んだ。本番が近づくと棒踊り保存会の方々と練習も始まった。歌に合わせて棒を打ち合ったりかけ声を出したりするタイミングが難しく、1年生も必死だった。

いよいよ岸良フェスタ本番。緊張していたが、保存会の方の歌声と棒をつく音、打ち合う音が体育館中に響き渡り、踊っている自分にもその迫力が伝わってきて、棒踊りの力強さを感じられた。

岸良の棒踊りは、これまでずっと続いてきた郷土芸能だ。子どもたちは少なくなっていくが、この郷土芸能を守り伝えていく一人としてしっかりと役目を果たしたい。